

(様式2)

3. 事後評価の実施

(1) 実施時期

令和2年9月25日 教育委員会協議会開催

(2) 評価の方法

外部有識者を含む教育委員会協議会により評価を行った。
長寿命化計画に基づいて順次実施している学校改修について、「現状と課題」、「事業実施の効果」についてを報告のうえ、意見を徴した。

4. 総合的な所見

施設整備計画の目標は、計画どおり達成できた。
「糸魚川市公共施設等総合管理指針」及び「糸魚川市学校施設長寿命化計画」を指標とし、児童・生徒数の現状と将来推計を踏まえて、地域振興、財政計画との整合を図りつつ、これまでの改築(建て替え)中心の整備から、長寿命化に重点を移し、老朽施設の大規模改修及び予防保全の修繕を計画的に行った。
老朽改修については、緊急性・必要性に応じて計画的に実施し、施設の長寿命化と教育環境の格差是正を図った。

5. 各目標の達成状況

(1) 公立の義務教育諸学校等施設の老朽化対策を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した 達成できなかった

【所見】

建築後20年以上経過し、施設の老朽化対策を行っていない中学校3校のうち、今計画内では能生中学校校舎の大規模改修(トイレ・エレベーター)を行い、バリアフリー化とともに環境改善を図った。

(2) 地震、津波等の災害に備えるための整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(3) 防犯対策など安全性の確保を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(4) 教育環境の質的な向上を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

大野小学校は、老朽化した冷暖房設備の改修を行うことで教育環境の向上を図るとともに、災害時における避難所機能の強化を図った。
能生中学校は、今後、障害のある生徒の入学が見込まれることから、今回の大規模改修時に校舎にエレベーターと多目的トイレを新設設置し、バリアフリー化を推進した。

(5) 施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

6. 改築後の危険建物等のとりこわし状況

(様式3)

7. 事業ごとの実施状況

学校等の名称	目標	事業区分	整備方針				事業完了年月日	(実施しなかった場合) 未実施の理由・今後の対応予定等	備考 (改築事業は、旧施設の とりこわし時期を明記)
			事業単位	建物区分	構造区分	全事業期間 (契約～完成)			
大野小学校	(4)	07	大規模改造(空調)	校	R	H30.09～H30.12	H30.12.11		
能生中学校(Ⅰ期工事)	(4)	07	大規模改造(障害)	校	R	H30.11～R1.6	H31.3.27		
能生中学校(Ⅱ期工事)	(4)	07	大規模改造(障害)	校	R	H30.11～R1.6	R1.6.4		
能生中学校(Ⅰ期工事)	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校	R	H30.11～R1.6	H31.3.27		
能生中学校(Ⅱ期工事)	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校	R	H30.11～R1.6	R1.6.4		
能生中学校(Ⅰ期工事)	(1)	06	大規模改造(老朽)	校	R	R1.12～R3.3	R2.10.12		
能生中学校(Ⅱ期工事)	(1)	06	大規模改造(老朽)	校	R	R1.12～R3.3	R3.3.10		